



真夏の日本

真夏の日本 といえば高温多湿。

毎日ウンザリするほど暑くジメジメした日々が続きます。

特に日々外出するのが避けられない方にとって、これに耐えていくのは大変です。

ところで日本における最高気温はいつどこで記録されたかご存知でしょうか？



山形の夏

さて **湿度が高い** と何故いっそう暑く感じるのでしょうか？

それは汗をかいた時、汗がすぐサーッと引く場合と、汗が乾かずにずーっと残っている場合とではどちらが暑く感じるかということで、実は、汗が乾く時に身体の熱をうばってくれるからです。

湿度が高いと汗がなかなか乾かず、結果、身体の熱が逃げにくくなるのでいっそう暑く感じるのです。



最高気温の定義は、着目した日の24時間内に観測された気温の最高値のことで、最高気温は通常(特に晴天の日)には12時から15時の間に観測されることが多いようですが、もちろんそのときの気圧配置によって夜中に観測されることもあるそうです。

ちなみに着目した月内に観測された気温の最高値が月最高気温と呼ばれています。

日本の公式記録における気温の最高記録は、**1933年7月25日15時頃に山形市で記録された40.8度**で、これは“フェーン現象”が原因とされているそうです。

また非公式には、**2004年7月20日に東京都足立区江北で観測された42.7度**という記録もあるそうです。



東京都足立区江北あたりの夏

ちなみに日本における気温の最低記録は？

日本の公式記録における気温の最低記録は、1902年1月25日に北海道旭川市で記録された -41.0 度、非公式では1931年1月27日に北海道美深町で記録した -41.5 度といわれています。

戦後では、北海道幌加内町の母子里で1977年2月15日に -40.8 度、1978年2月17日に -41.2 度を記録しているとの事です。

また2000年1月27日に起こった、北海道東部大寒波のときには陸別町（北海道）では -33.2 度を観測し、そのときに道の駅「オーロラタウン93りくべつ」では、自動販売機の「あたたか〜い」飲み物がすべて自動販売機の中で凍ったそうです。

幾らか涼しい気分になられたでしょうか？

こんなに厳しい日本の環境にも 適合する製品群



こちらは産業用のスイッチングハブです。使用温度範囲は $-25^{\circ}\text{C} \sim +75^{\circ}\text{C}$
湿度は95%まで(但し結露なきこと)
で使用が可能です。



フェニックス・コンタクト社のスイッチング電源には、厳しい現場の使用環境に耐え得る“Ex”タイプがあります。
使用温度範囲は $-25^{\circ}\text{C} \sim +70^{\circ}\text{C}$
湿度は100%まで、結露状態でも使用が可能です。

この他にもフェニックス・コンタクト社は、
厳しい現場の使用環境に適合した“環境
にタフ”な製品を各種用意しています。

フェニックス・コンタクト株式会社

横浜市港北区新横浜1-7-9 友泉新横浜1丁目ビル6階

本社・営業部 Tel. (045) 471 0030 Fax. (045) 471 0031

大阪営業所 Tel. (06) 6838 3133 Fax. (06) 6838 3533

名古屋営業所 Tel. (052) 918 7211 Fax. (052) 918 7222

大宮営業所 Tel. (048) 631 3371 Fax. (048) 648 8651

福岡営業所 Tel. (092) 418 2030 Fax. (092) 476 8643

商品のお問い合わせは